

## 2019年度事業計画

(2019年4月1日から2020年3月31日まで)

### I. 収 支 計 画

(千円)

		2019年度 計画	対前年度 増減	2018年度 実績
経常収益		50,730	-3,151	53,881
	基本財産受取利息	50,470	-3,069	53,539
	運用財産受取利息	160	-19	179
	寄付金	100	-63	163
経常費用		55,700	-3,419	59,119
	助成事業	26,800	-447	27,247
	支払助成金	16,000	-164	16,164
	内訳 高齢者福祉助成	8,500	336	8,164
	内訳 調査研究助成	7,500	-500	8,000
健康事業		23,000	-2,643	25,643
事業費計		49,800	-3,090	52,890
管理費計		5,900	-329	6,229
当期経常増減額		-4,970	268	-5,238

平成30年度は債券の満期償還が3件発生し、買替債券の利金が減少したこと、および円高進行による為替連動債の利金減少も重なり、利金収入が大きく減少した。

2019年度も満期償還が1件あり、厳しい債券市場の見通しから利金の減少が予想されるが、公益法人に相応しい活動品質を維持しながら、より一層効果的・効率的な運営を目指す。

#### (1) 経常収益

基本財産受取利息等5,063万円および寄付金10万円により5,073万円とする。

財産運用益の減少により、平成30年度より315万円減少する。

#### (2) 経常費用（配賦後）

①「助成事業」については、高齢者福祉助成850万円及び調査・研究助成750万円、合計1,600万円とし、事業費予算額は2,680万円とする。（対前年度△45万円）

②「健康事業」については、事業費予算額2,300万円とする。（対前年度△264万円）。

③「管理費」については、590万円とする。（対前年度△33万円）

④この結果、経常費用計は5,570万円となり、平成30年度より342万円下回る。

### (3) 当期経常増減額及び当期一般正味財産増減額

「経常収益計」から「経常費用計」を差し引いた「当期経常増減額」は497万円の赤字となり、これを「一般正味財産期首残高」である3,291万円から補填した「一般正味財産期末残高」は2,794万円となる。

## II. 事業計画と事業費の説明

### (1) 助成事業

#### ①高年齢者福祉助成について

1件あたり助成額の上限を昨年度同様15万円とし、「高年齢者福祉助成」としての予算規模は850万円とする。

申請団体との窓口を担って頂いている府県・政令指定都市の社会福祉協議会との連携をより強化し、さらに多くの団体からの申請を受けるよう工夫していく。

また、応募段階でのヒアリング等により、助成の必要性や申請額の精査を行うとともに、申請団体・管轄社協の地域偏在を極力減らすよう努力する。

2019年度 高年齢者福祉助成 予算総額：850万円 高年齢者福祉助成1件あたり限度額：15万円
---

#### ②調査・研究助成について

1件あたりの助成限度額を昨年度同様100万円とし、「調査・研究助成」としての予算規模を750万円とする。

従来から、高齢者の身体機能の老化や生活環境の変化に伴う心身障害およびその改善方法等、現場実践的なテーマの研究に対して助成を行っているが、医学的な基礎研究の応募等も散見されるため、高齢者の福祉の向上と健康の増進という、当財団の助成の趣旨を徹底した上で募集・選考を行う。福祉現場での実践を通じた調査・研究にもスポットを当てる取組みを継続実施する。

2019年度 調査・研究助成 予算総額：750万円 調査・研究助成1件あたり限度額：100万円
--

### (2) 健康事業

健康事業部では、高齢者の健康の維持・増進のため、引続き公益性・公平性・透明性を確保しながら、より効果的で魅力ある事業活動を行う。

そのため、「健康のつどい」ならびに「健康づくり料理講習」、「健康づくり教室」などのイベントを着実に継続して行う。

「健康のつどい」については、昨年度に引き続き、1団体当りの年間利用数を1回に

制限するとともに若干事業規模を縮小する。(対前年度23回減)。さらに、受講団体のみならず講師陣ともより一層の連携を図り、事業効率の向上を目指す。

これまで30年間にわたり実施してきた「ウォーキング大会」は、その活動により「高齢者のウォーキング習慣の定着」という一定の成果が得られたため、予算面も考慮して昨年度をもって終了とする。その代替として、「健康づくり教室」の大阪開催分を2回から3回に増やして実施する。

<表1>健康事業計画

	2019年度 計画(案)		平成30年度 実績		平成30年度 計画	
	健康のつどい	100回	5,000人	123回	7,331人	110回
健康づくり教室	5回	950人	4回	879人	4回	720人
健康づくり料理講習	23回	690人	26回	736人	25回	750人
ウォーキング大会	0回	0人	1回	503人	1回	700人
その他	0回	0人	1回	55人	0回	0人
合計	128回	6,640人	155回	9,504人	140回	7,670人

(3) 管理費

管理費は更なる経費削減に努め、各費用項目を引き続き定期的に見直す。

以上

# 収支予算書 【損益計算方式】費用配賦後(予算)

(2019年4月1日～2020年3月31日)

(単位：円)

科 目	公益目的事業			公益目的計	法人会計	合計
	公1. 助成事業	公2. 健康事業	共通事業			
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益						
基本財産受取利息			40,376,000	40,376,000	10,094,000	50,470,000
② 特定資産運用益						
特定資産受取利息			0	0	0	0
③ 雑収益						
受取利息			128,000	128,000	32,000	160,000
受取寄付金			80,000	80,000	20,000	100,000
その他			0	0	0	0
経常収益計			40,584,000	40,584,000	10,146,000	50,730,000
(2) 経常費用						
① 事業費						
支払助成金	16,000,000	0		16,000,000		16,000,000
高年齢者福祉助成	8,500,000	0		8,500,000		8,500,000
調査研究助成	7,500,000	0		7,500,000		7,500,000
常勤役員報酬	1,720,000	1,720,000		3,440,000		3,440,000
給料手当	4,350,000	7,600,000		11,950,000		11,950,000
アルバイト給料手当	600,000	1,300,000		1,900,000		1,900,000
福利厚生費	150,000	1,100,000		1,250,000		1,250,000
委託費	0	0		0		0
会議費	250,000	0		250,000		250,000
旅費交通費	280,000	500,000		780,000		780,000
通信運搬費	150,000	560,000		710,000		710,000
減価償却費		33,000		33,000		33,000
消耗品費	10,000	1,570,000		1,580,000		1,580,000
印刷製本費	1,550,000	970,000		2,520,000		2,520,000
光熱水料費	152,000	216,000		368,000		368,000
諸謝金	1,000,000	4,300,000		5,300,000		5,300,000
賃貸料	500,000	761,000		1,261,000		1,261,000
賃貸料(会場)	0	330,000		330,000		330,000
雑費	88,000	2,040,000		2,128,000		2,128,000
事業費計	26,800,000	23,000,000		49,800,000		49,800,000
② 管理費						
給料手当					2,670,000	2,670,000
常勤役員報酬					860,000	860,000
非常勤役員報酬					1,300,000	1,300,000
給料手当					480,000	480,000
福利厚生費					30,000	30,000
会議費					400,000	400,000
旅費交通費					400,000	400,000
通信運搬費					400,000	400,000
減価償却費					0	0
消耗品費					130,000	130,000
印刷製本費					350,000	350,000
光熱水料費					32,000	32,000
賃貸料					100,000	100,000
雑費					1,418,000	1,418,000
管理費計					5,900,000	5,900,000
経常費用計	26,800,000	23,000,000	0	49,800,000	5,900,000	55,700,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 26,800,000	△ 23,000,000	40,584,000	△ 9,216,000	4,246,000	△ 4,970,000
評価損益等	0	0	0	0	0	0
予備費	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 26,800,000	△ 23,000,000	40,584,000	△ 9,216,000	4,246,000	△ 4,970,000
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 26,800,000	△ 23,000,000	40,584,000	△ 9,216,000	4,246,000	△ 4,970,000
一般正味財産期首残高	△ 301,777,351	△ 269,828,193	512,437,896	△ 59,167,648	92,073,249	32,905,601
一般正味財産期末残高	△ 328,577,351	△ 292,828,193	553,021,896	△ 68,383,648	96,319,249	27,935,601
II. 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	0	0	0	0	0	0
基本財産評価益	0	0	0	0	0	0
基本財産運用益	0	0	40,584,000	40,584,000	10,146,000	50,730,000
一般正味財産への振替額	0	0	△ 40,584,000	△ 40,584,000	△ 10,146,000	△ 50,730,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	1,840,000,000	1,840,000,000	460,000,000	2,300,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	1,840,000,000	1,840,000,000	460,000,000	2,300,000,000
III. 正味財産期末残高	△ 328,577,351	△ 292,828,193	2,393,021,896	1,771,616,352	556,319,249	2,327,935,601